

霞クラブ加盟各社 御中
日本新聞協会 御中
東京写真記者協会 御中
テレビ・ニュース映画協会 御中
日本雑誌協会 御中

平成27年1月30日
外務報道官
領事局長
中東アフリカ局長

トルコにおけるシリアとの国境付近での取材に際する注意喚起について（その2）

1. シリア国内は当然のことながら、シリアとトルコとの国境付近のトルコ側で取材活動を行うことは、不測の事態に巻き込まれる可能性が高く、非常に危険であることにつき、本日注意喚起を発出したところです。

2. 上記の状況を踏まえ、本日、トルコのシリア国境付近については、渡航情報（危険情報）の中で最も厳しい、「退避を勧告します。渡航は延期してください。」を発出しました。改めて同地域への渡航はいかなる理由であれ控えるよう、また、同地域に既に滞在されている方は、直ちに退避するよう強くお願いします。

3. 上記にもかかわらず、現時点で貴社関係者（記者、カメラマン及び助手ならびに貴社契約の現地カメラ記者等）がシリアに入国している場合、又は、トルコのシリア国境付近に渡航・滞在している場合には、出国までの期間の緊急連絡先（氏名、連絡先、滞在日程）を在トルコ日本国大使館（FAX+90-312-437-1812、電話+90-312-446-0500）または在ヨルダン日本国大使館内在シリア日本国大使館臨時事務所（FAX+962-6-5931006、電話+962-6-5932005）まで至急連絡の上、直ちにシリアからの出国又はトルコのシリア国境付近からの離脱をお願いします。

また、各社にて契約しているフリージャーナリストに対しても、同様に渡航・滞在を控えるよう注意喚起を行って頂くよう強くお願いします。

（了）